

# 受講者の声

お母さんコーチ



## 第6回【家庭文化の力】

受講後に了承をいただいた方のみ実名にて掲載しております。

きげんのよい時、子どもがかかわりのある外部の人達との交流について話をしてくれます。

いっしょに喜びます。これからも どうしたらよいだろうね?と声がけします。

私が子供に対してなんで?の質問が多くなり、そのため子供が「だって〜」の受け答えが多くなり、  
いづのがわかり、気がつけるようになった。 「だって」と口ぐせになっていた娘が「だって」と言わなくなった。と気がついた。本当にいつの間にか変わってくれた。  
講座を通じて学んでいることで、私が子供に対して余裕がもてるようになった(長持ちに)  
悪いところではなく良いところに目がいく。見方の変化。

なかなか思うように出来ていないのですが、出来るだけ肯定的な言い方を  
するよう心がけたいと思うようになりました。また言葉の持つ力に  
引き寄せられるということが印象的だったので、なめてほい未来像を話すように  
しなくてほと思うようになりました。(まだ気がすすまず、否定語を使ってしまうことが多い)

・子供は、落ちついてきた。学校の話をしてくれるようになった。

・感情的に怒ることが少なくなってきた。(私)

・マイナスイメージの言葉を使わないように気を付けるようになった。(私)

・ネガティブな言葉を言わないように(思う事もないように)している

・子供を信じるべし

・良いイメージを持つ言葉を投げかける

・信じられないほどのほがまし  
さがある時がある。

・子どもの目を見ながら言葉を言いつける。

・相手の顔を見ながら(声も聞いて)話をするようにしてる

・信じすぎてアムニチャーを  
かけたらいい。

・その日の先生の話や毎日(なるべく)聞くようにしてる(時の忘れ)